



2026年8月25日

各 位

会社名	株式会社アスタリスク	
代表者名	代表取締役執行役員社長	鈴木 規之
	(コード番号：6522 東証グロース)	
問合せ先	取締役執行役員 管理統括室長	太田 尚友
		ir@asx.co.jp

スマレジとアスタリスク、RFIDレジ加速で協業開始

～RFID一括会計の普及を促進、店舗防犯への活用も検討～

株式会社アスタリスク（本社：大阪市、代表取締役執行役員社長：鈴木 規之、以下「アスタリスク」）と、iPadなどのタブレットを利用したクラウドPOSレジ「スマレジ」を展開する株式会社スマレジ（本社：大阪府中央区、代表取締役：宮崎 龍平、以下「スマレジ」）は、店舗におけるRFIDレジの本格普及を加速するための取り組みを開始することを発表いたします。



Asterisk Inc.

【協業の背景】

近年、セルフレジの導入が急速に進んでいます。その背景には、人件費の高騰に加え、労働力不足という構造的な課題があり、今後もセルフレジの普及は加速することが見込まれます。スマレジも、こうした市場ニーズに対応し、セルフレジ機能を正式にサポートしています。

一方、従来のバーコード方式では、セルフレジであっても有人レジであっても、商品の一つひとつ読み取る必要があります。特にまとめ買いの多い店舗では、読み取りに時間を要するだけでなく、読み取り漏れや商品間違いなど、レジ業務における負担やリスクにもつながります。また、店舗側にとっては、スタッフの経験や習熟度によって作業スピードや正確性に差が生じるという課題もあります。

そこで両社は、商品にRFIDタグを装着し、買い物カゴに入った商品を一括して読み取るRFIDレジの本格展開に向け、協力体制を構築することとしました。買い物カゴごと読み取りエリアに置くだけで複数の商品を一括認識し、会計につなげることで、セルフレジでは利用者の操作負担を軽減するとともに、有人レジにおいてもレジ処理の大幅なスピードアップと正確性の向上が期待できます。

さらに、商品の一つずつ読み取る作業への依存度を低減することで、スタッフの経験や習熟度に左右されにくいレジ業務が可能となり、新たにレジ業務を担当するスタッフや、多様な人材が働く店舗においても、一定の処理スピードと正確性を確保しやすくなります。

この一括認識の仕組みは、既に大手アパレルなどで実用化されており、消費者の利便性向上だけでなく、店舗側のレジ業務の効率化にも大きく貢献することが期待されています。

【RFIDレジの特長】

アスタリスクは、上方向を中心にRFIDタグを読み取る独自技術（特許取得済み）を有しており、レジ周辺での不要な読み取りを抑えながら、安定した一括読み取りを実現する技術を開発しています。

これまでも、スマレジのPOSシステムにアスタリスクのRFIDリーダーを組み込むなど、両社はRFIDを活用した店舗業務において連携を進めてきました。今回の協業は、こうしたこれまでの連携実績をさらに発展させ、RFIDを活用した一括会計をはじめ、店舗におけるRFID活用をより本格的に展開していくため、両社の連携を一層強化するものです。

RFIDレジはセルフレジだけでなく、有人レジへの展開も可能です。バーコードを一点ずつスキャンする必要がなくなり、買い物カゴごと商品を読み取ることで、レジ業務の大幅な効率化とレジ待ち時間の短縮が期待できます。

また、スマレジのPOS・店舗管理基盤とアスタリスクのRFID技術を組み合わせることで、RFIDで認識した商品情報をPOSの販売情報と連携し、商品を「一つずつ読み取る」従来の業務から、商品そのものを「まとめて認識する」業務へと転換することが可能となります。

両社は、これまで培ってきたPOSとRFIDの連携をさらに強化し、セルフレジ・有人レジの双方におけるRFID一括会計の実現と、その普及を推進してまいります。

【防犯への応用】

アスタリスクは、2026年6月30日に「スーパーマーケット向け、全商品RFID化ソリューション」の本格展開を発表し、2026年8月17日には「スーパーマーケット等におけるセルフレジ防犯を起点としたRFID普及ロードマップ」を発表しました。RFID一括会計の実現を目指すとともに、これらの発表中でも記載している通り、既存のセルフレジにおける防犯対策としてのRFID活用についても検討を進めます。

RFIDによって商品を個品単位で認識し、POSの販売情報と組み合わせることで、販売された商品と店舗から移動する商品の関係を把握するなど、従来とは異なるアプローチによる店舗防犯への応用が期待されます。

(参考)

- 2026年6月30日「スーパーマーケット向け、全商品RFID化ソリューション」の本格展開を発表
<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04936/b4170654/7564/4db9/bffa/ba56ceaa104e/140120260629583006.pdf>
- 2026年8月17日「スーパーマーケット等におけるセルフレジ防犯を起点としたRFID普及ロードマップ」を発表
<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04936/91876cd9/f315/4acc/9c3c/8526be450f0f/140120260817521701.pdf>

	RFID検知	POS登録	判定結果	【システム対応】
正常	 あり	 あり	正常	通常会計処理 
正常/例外	 なし	 あり	正常/例外	タグ未貼付商品 ダミータグ商品 または読取不整合として処理  
異常疑い	 あり	 なし	異常疑い	未会計商品の可能性あり 即座にAI解析エンジン起動

AI解析
フロー

AI
 POS画面
 手元
 侵入
 属性
 属性
 時間
 POSデータ

証拠収集


スマレジとアスタリスクは、両社の技術・サービスの連携を通じて、POS×RFIDによる次世代の店舗DXを推進し、「会計の効率化」と「店舗防犯」という二つの側面からRFIDの普及を加速させ、小売業界全体の業務効率化と新たな価値の創出を目指してまいります。

以上

【株式会社スマレジについて】 <https://corp.smaregi.jp/>

【株式会社アスタリスク】 <https://www.asx.co.jp/>